

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 24 日

評価対象事業		評価者	秘書広報課	馬場 伸一
経企-09 広報事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 秘書広報課 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市政情報その他の情報を的確に市民等に伝えるため。
効果	市民の市政への参加及び参画を推進し、市政等に対する理解を深めてもらう。

2 平成26年度に実施した事業の概要

・広報一般事務を行った。 ・広報かまぐら発行を行った。 ・JCN鎌倉、鎌倉エフエムによる市政番組の放送、広報板の維持・管理、ホームページの運用等の事業を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	67,100	決算値(千円)	66,040	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	5,555	その他	6,079	
	一般財源	61,545	一般財源	59,961	
	人員配置数	4.5	人員配置数	4.5	
事業経費運営	人件費(千円)	35,334	人件費(千円)	34,117	
	総事業費(千円)	102,434	総事業費(千円)	100,157	
	市民1人当りの経費(円)	578	市民1人当りの経費(円)	564	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	様々な広報ツールを活用し、より積極的な情報発信をしていく必要がある。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	SNSが急速に普及するなか、新たにLINEやYoutubeを活用した情報発信を行ったほか、ホームページのリニューアルを実施し、検索性の向上やスマートフォンに対応したものとした。また、アクセシビリティに関する基本方針に基づき、誰もが利用しやすいホームページとなるよう改善に取り組んだ。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題 新たな課題	各広報ツールの特性を踏まえ、情報発信方法等の見直しを図る必要がある。		
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである	
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 点訳赤十字奉仕団、朗読録音奉仕会、(株)サイネックス	
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容 各広報ツールにおける情報発信の方法や内容を見直し、広報かまぐらの編集体制や紙面を見直し、アウトソーシングも含めた検討を行う。
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 予算規模を維持しつつ、市民等のニーズに即した弾力的な予算編成とするため	
総評			

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	広報紙頁数タブロイド判(上)、A4判(下)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	8・12	4・12・14	8	8		12・16			
					16・24		24	24	18
比較事項	月発行回数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	2	2	2	2	2	1	1	1	1
比較事項	広報紙1部当たりの発行単価								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	9.8	23.1	7.7	8.9	22.8	13.2	38.3	54.5	34.7
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	基幹となる広報紙発行に要するコストは、紙面の大きさで2極化している。平成26年度に実施した広報かまくらに関するアンケート結果では、紙面の大きさや発行回数に一定理解を得られた。引き続き広報紙にかかる他市のコストに注視しつつ、見られる広報紙となるよう紙面の充実を目指します。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市ホームページアクセス数(サイト全体の訪問数)						単位	件	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
コンテンツの充実等を図ることにより、ホームページを活用していただくため。	目標値	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000	3,700,000				
	実績値	3,136,900									
	達成率	98.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---